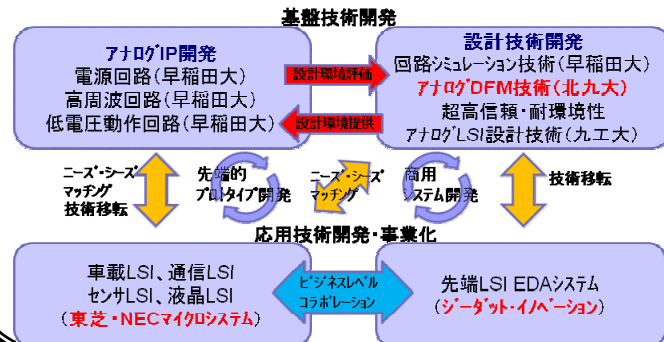


ミクストシグナルLSI IPとその先端的設計技術の研究開発 アナログDFM技術

実施体制

代表研究者: 中武繁寿 (北九州市立大学)
参加研究者: 李静、楊波、董青 (北九州市立大学)
参加企業: 東芝セミコンダクタ社
NECマイクロシステム
ジードット・イノベーション

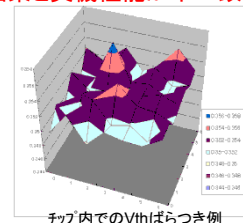
テーマ21における「アナログDFM技術開発」の位置づけ



研究の目的

サブ100nm以降の超微細化半導体プロセスでは、設計段階でのシミュレーション結果と実機性能が不一致

チップ内ばらつきに起因する
・歩留まり低下、
・回路改良、
・プロセス改善による開発遅延
→
プロセス開発費、
マスク製作費の増大

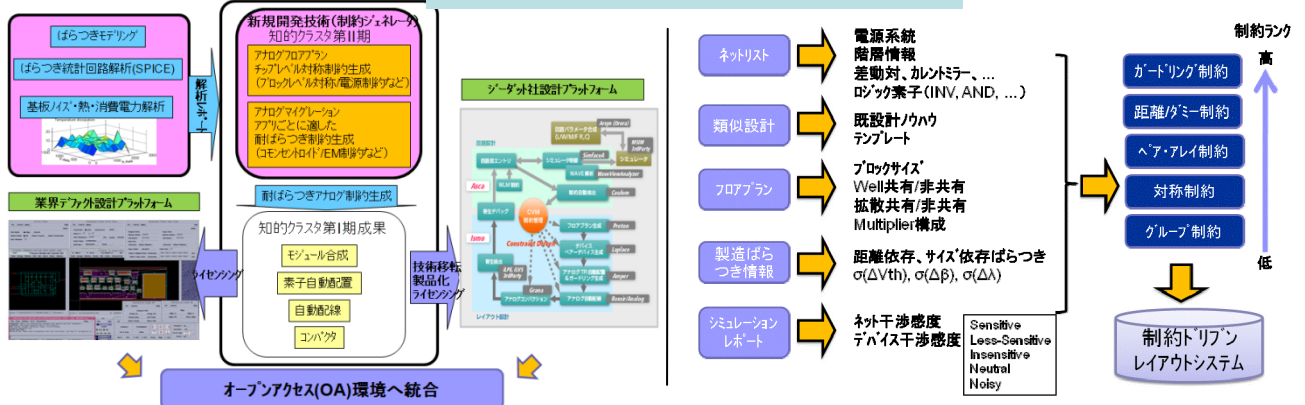


アナログDFM(Design For Manufacturing)技術が重要

アナログ設計で利用できるばらつき情報のモデル化
耐ばらつき制約の自動抽出・生成

“制約フリー” なアナログ自動レイアウト設計ツール開発

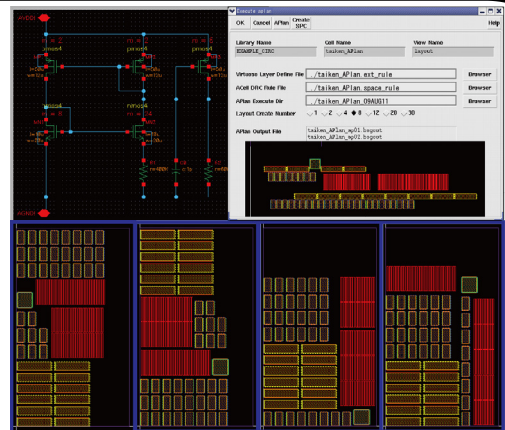
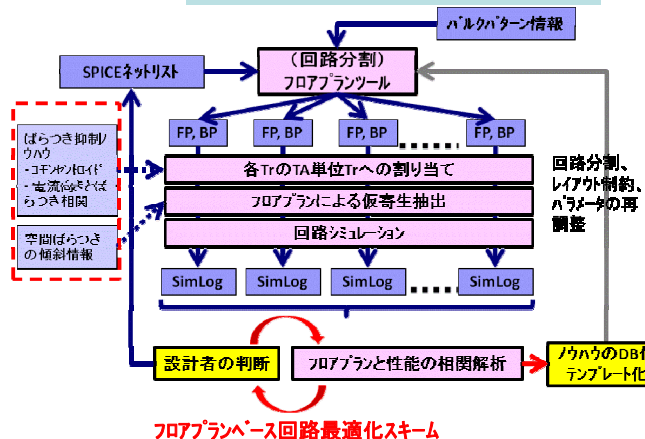
研究の概要



本PJT開発アナログレイアウト設計環境プラットフォーム

耐ばらつき制約の自動抽出・生成

研究成果



* 本研究の一部は、文部科学省・知的クラスター創成事業(第II期)の支援を受けて実施しました。